

示告生

甲第 107 號

技术町役場	技术町役場
其長田村役場	其長田村役場
秋吉村役場	秋吉村役場
岩水村役場	岩水村役場
伊佐町役場	伊佐町役場
東厚保村役場	東厚保村役場
西厚保村役場	西厚保村役場
大曾町役場	大曾町役場
別府村役場	別府村役場
共和村役場	共和村役場
赤穂村役場	赤穂村役場
瀬浦郡東村役場	瀬浦郡東村役場
内日村役場	内日村役場
黒井村役場	黒井村役場
川端村役場	川端村役場
小串村役場	小串村役場
神田村役場	神田村役場
神玉村役場	神玉村役場
河川村役場	河川村役場
新野村役場	新野村役場
高部村役場	高部村役場
田井村役場	田井村役場
豊原村役場	豊原村役場
豊田中村役場	豊田中村役場
市内町役場	市内町役場
卷田下村役場	卷田下村役場
阿武郡三見村	阿武郡三見村
明木村役場	明木村役場
佐々木村役場	佐々木村役場
川上村役場	川上村役場
生石村役場	生石村役場
地蔵村役場	地蔵村役場
嘉年村役場	嘉年村役場
高保村役場	高保村役場
吉部村役場	吉部村役場
篠原村役場	篠原村役場
大井村役場	大井村役場
吉古村役場	吉古村役場
宇田治村	宇田治村
須佐村役場	須佐村役場
須佐役場	須佐役場
小川村役場	小川村役場
江崎村役場	江崎村役場
見島村役場	見島村役場
大曾郡第三關町役場	大曾郡第三關町役場
・通村役場	・通村役場
仙崎町役場	仙崎町役場
王子保育所	王子保育所
保育所名 仙台市中央保 育所	保育所名 仙台市中央保 育所
游谷保育所	游谷保育所
八十二番地 宮城県仙台花園二番丁	八十二番地 宮城県仙台花園二番丁
八番地 八番地北区王子町一 八番地	八番地 八番地北区王子町一 八番地
七番地 七番地区花園町一 六番地	七番地 七番地区花園町一 六番地

○臣史者告示第三十六号
新規法施行規則(昭和二十一年四月一日施行)
國立公園法第二條の規定によりたる山梨縣
等地区、東京近郊、道路(車道の追加
及び歩道)を次のようく決定する。
その認保園西は山梨県芦原市、静岡県
市、神奈川県に及び左の園保町町役場
場に於て掲げて送致に供する。
昭和二十一年二月十四日
山梨縣大畠林業組合
吉田町、西桂町、船津村、小立村、新治
山村、大泉村、忍沢村、西浜村、大石
村、河口村、西八代郡上九一色村、古
河町
郡根原郡下井郡上井出村、白糸村、北山
村、吉士坂村、大瀬村、吉永村、駒東
郡根原村、印野村、玉龍村、御走村、
神奈川県小田原市、足柄下郡足柄村、
藤本町、道泉村、高坂町村、仙石原
村、相模原市、元箱根村、箱根村
(「水のい」及び「園西」は名地)

依山村	依山村
淡浦村	淡浦村
日置村	日置村
宇都宮村	宇都宮村
向賀具村	向賀具村
山口縣斯村	山口縣斯村
組合	組合
山口縣淡河郡淡河	山口縣淡河郡淡河
新役場	新役場
秋河郡角島村役場	秋河郡角島村役場
秋河郡通津村役	秋河郡通津村役
秋河郡淡河町	秋河郡淡河町

(○)医生者告示第三十七号
昭和十四年四月厚生省告示第七十
一号(医療法第九条第一項及び医療法
の附例等に関する命令第一條の規定
による診療所に関する指定の件)の一部
を次のように改正する。
昭和二十五年一月十五日
日本大臣林 墓治
又は施設院の主任及び看護に關して
に、「当該診療所」を「当該施設、分院
或又は診療所」に改める。
◎厚生省告示第三十九号
一、施設院が運営する施設の規定に
より、西田盛子の施設院を行ひ得る
よう規定する。
昭和二十一年一月十五日
日本大臣林 墓治
百田政子防委員監督心得
一、施設院
二、施設院の予防接種は毎年少くとも
一年行はなければならない。
三、使用ワクチン
一、生化学的接種運営規則(昭和
二十四年厚生省令第八号)による規
定に合規した百田政子タチノモ吉用
しなければならない。
二、ワクチンの接種及び有効期間
〔昭氏〕度から五度までの温度に保
存し、その有効期限は保管方法の日
から十八箇月とする。
四、接種回数及び接種間隔
一、初回免疫をする者は第一回
二、初回免疫をする者は第一回
一・〇耗、第二回、五耗、第三回以
て皮下に注射する。
三、追加接種をする者は一・〇
耗を二回以上に分けてする。
火炭者の一覧的な注意
常に丁寧な態度で火炭に當り、い
くとも被接種者の取り扱いが相
に出来ないよう注意しなければなら
ない。火炭する場合はお
もいで火炭する場合を除く一人
について一時間に接種する人数はお
よそ百人とする。
注射器
充分に広くて消毒しない所を選び、
熱氣、空氣等に接種しない
ない。
七、予防接種規則(昭和三十九年
状態を發せ、並びにその場合に於
きを行わなければならぬ。

八 指の消毒

高天性、心疾患、眼疾患等の者によつて症狀の増悪するおそれのある者に対しても手消毒を行つてはならない。

九 手指の消毒

予防接種の実績に當る者は、その前に手指を消毒しなければならない。

十 接種用器具の消毒

注射器及び接種針等は使用前蒸気滅菌にて消毒しなければならない。接種針等は必ず接種する一人一人に行わなければならぬ。

十一 接種部位の消毒

接種部位は被毛上、皮膚皮下とし、接種部位はヨードシンキ又はアルコールで十分消毒しなければならない。

十二 ワクチンの接種上の注意

接種針の先端を皮下にせん刺し落とし、吸引を行つて針先が血管内にせん入しない事を確かめ、落葉灰に肯定試験を施行しなければならない。

十三 接種時の注意

接種針の先端を皮下にせん刺し落とし、吸引を行つて針先が血管内にせん入しない事を確かめ、落葉灰に肯定試験を施行しなければならない。

十四 予防接種の臨床観

注射後、皆によつて局部的充赤、しゆ服、硬結、腫瘍等を免然発が現われる事があるが次日中には消退する。

十五 他の予防接種との併用

他の予防接種との併用は、原則的に同じく同じ人に対しても予防接種を行つてもよい。

二十一号(ヘルクリン反応検査)及び結核菌接種(並行心型)の二種を組み合わせる者一人ごとに接種部位は被毛上、皮膚皮下とし、接種部位はヨードシンキ又はアルコールで十分消毒しなければならない。

いた針と取り換へなければならぬ
なれど、注射器のツベルクリンが
使用しつゝされたときは、その注射
器を消毒しないで、新しくツベ
ルクリンを吸引して注射を実施し
てはならない。

◎母乳表示法四十九条

母乳表示法(昭和二十三年法律第五百
五十六号)第二十一条の規定により、
次の母乳表示規則並びに監督を認可し
た。

昭和二十一年二月十五日由

名　　谷　　所　　庄　　地　　穀山
南洋紡子等製造業者　　谷山市高田町東
葛糸生産者組合　　地方新古著地
◎監督表示法四十一条

出生表示法(昭和二十三年法律第五百
五十六号)第二十二条の規定により、
次の出生表示規則の監督を認可し
た。

昭和二十一年二月十五日

厚生大臣　林　義治

農林省中島俊生　　農林省奈良県農林試験
場研究室長　　西田千八郎地

◎出生表示法第四十一条

日本猪蹄共済組合は、昭和
二十一年二月十五日監督表示法四十
一条第十一項の規定により本件を認可
せしむ。

昭和二十一年二月十五日

厚生大臣　林　義治

◎厚生省告示第四十三号

國立公衆衛生院よりの認定により古賀
源蔵博士が本院に於ては京都山陽高等
学校出でて可及び就学中の各一部を追加修
定する。

その結果同部は表示した内容を
その生産者告示第四十三号
國立公衆衛生院よりの認定により古賀
源蔵博士が本院に於ては京都山陽高等
学校出でて可及び就学中の各一部を追加修
定する。